



2020年
(令和2年)
春号
Vol. 3

枚方市議会議員

奥野みか

すべての人々が、「今」を輝いて
生きていける社会をつくる

- 奥野みかの活動報告（トピックス）
～公共施設の役割と課題を確認～
- 奥野みかの予算特別委員会での質問
(令和2年度当初予算を審査)
- 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために～一人ひとりができる予防の取り組みを～

奥野みかの活動報告（トピックス） ～公共施設の役割と課題を確認～

楠葉雨水貯留管整備工事現場を視察しました

市は、大雨による浸水の被害を防ぐため、雨水を早く川に流すためのポンプ場や、大雨が降った時に、浸水を防ぐために雨水を一時的に貯める巨大な下水管（雨水貯留管）などの整備を進めています。雨水貯留管の整備は、今年度、蹠地区と楠葉地区の2か所で進められてきました。

1月27日、楠葉雨水貯留管整備工事を視察しました。完成すると、貯留管の容量は約20,000m³（約2万トン、25mプール約56杯分）で、枚方では最大規模になります。楠葉中央公園の下あたりからポンプで天満川に排水されます。楠葉地区の浸水被害を防ぐため、安全第一で工事が進むことを願っています。



浄水場や大阪精神医療センターを会派で視察

1月21日は、村野浄水場と中宮浄水場を視察しました。村野浄水場は、大阪広域水道企業団が府内42市町村に供給している水道水の約8割を担う浄水場です。枚方市は自己水の割合が高く、16.7%（平成30年度）を企業団から受水しています。枚方の浄水は、磯島取水場で取水され、中宮浄水場（第1・第2）での浄水処理（13万m³/日）を経て、高度浄水施設でオゾン活性炭処理が行われ、送水されています。いま、隣接の元近畿財務局の跡地で、膜ろ過処理の新浄水施設（施設能力11万m³/日）の建設事業が進められています。

また、1月22日には、大阪府の依存症治療拠点でもある大阪精神医療センターを視察しました。新たに設置された地域連携推進室が、受診相談・入院相談から退院後の生活まで、地域と連携した支援に取り組まれています。

奥野みかの予算特別委員会での質問 ～2020（令和2）年度当初予算を審査～

2020（令和2）年度一般会計当初予算は昨年度より7.4%増の1,508億円、特別・企業会計を含めると3.7%増の2,811億円となっています。予算特別委員会では13人の議員が質問し、私は、14項目について質問しました。項目は次のとおりです。裏面に質問のポイントを掲載しています。

（※詳細はホームページ・FBをご覧ください。）

■総務・文教常任委員会所管分野

- ・自主財源である市税各税目の増減理由について
- ・市の人口構造の変化を見通した財政運営について
- ・各基金の現状と令和2年度予算に計上した積み立てと取り崩しの内容について
- ・特定目的基金であるこの街に住みたい基金について

- ・総合文化芸術センター整備事業について
- ・留守家庭児童会室の施設管理について
- ・市史編さんに要する経費について
- ・枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業について
- ・改訂版枚方市防災マップの作成について

■厚生・建設環境常任委員会所管分野

- ・未利用施設（元幼児療育園）の維持管理について
- ・医療的ケア児等支援事業について

■特別・企業会計

- ・一般会計からの繰入金について（病院事業会計）
- ・管路の計画的な整備について（水道事業会計）
- ・在宅医療・介護連携推進事業費について

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために ～一人ひとりができる予防の取り組みを～

まずは手洗い・咳エチケットなどの予防の取り組み、そして、感染拡大を防止するためには一人ひとりの行動の自粛が大切です。なお、枚方市では、やむなく休業を要するひとり親等世帯を対象に休業手当金を支給する経済的支援のための補正予算5,500万円が可決されました。

奥野みか ホームページ
・フェイスブック

<https://okuno-mika.com>
<https://www.facebook.com/mika.okuno.338>



奥野みか
予算特別委員会 質問

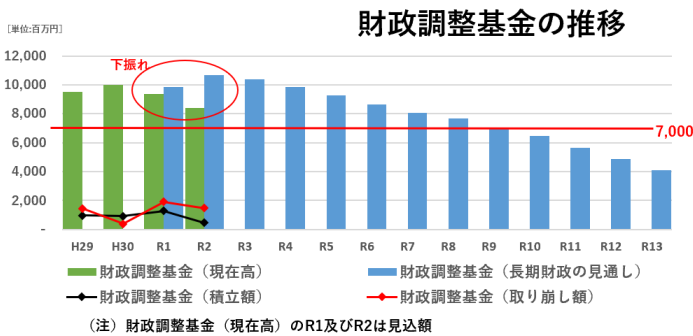
ポイント／安定的で持続可能な財政運営のため、基金の適正な管理・運営を

市が令和2年2月に示した「長期財政の見通し」では、毎年度10億円を超える実質収支の黒字を維持できると見込んでいます。令和2年度当初予算は、この見通しをもとに編成されていると考え、今回の審議では、そうしたことも踏まえて質問しました。

質問 社会経済情勢が激変している。さまざまな状況変化に対応できる財政運営のために「財政調整基金」はどの程度の残高があればよいのか。

答弁 本市の標準財政規模の概ね10%の70億円程度と考えている。

「財政調整基金」という家計でいう貯金は、新型コロナウイルス感染症の拡大や災害の発生などのように突発的な財政支出に対処するために、必要な額をしっかりと積み立てておく必要があります。しかし、早くも「長期財政の見通し」の中で計画した額を大きく下回りはじめています。市として説明責任を果たせるよう、「財政調整基金」の適正な積み立てや運用を要望しました。

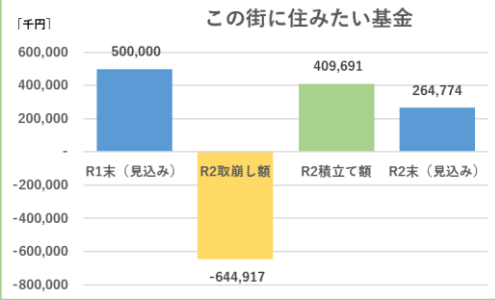


ポイント／「この街に住みたい基金」は適正な運用が必要。行政改革効果が確定してから積立てを

市は、今回、「この街に住みたい基金」という新たな基金を作り、令和元年度と2年度の2年間で約9億1千万円積み立て、令和2年度に約6億4千万円取り崩すとしました。この基金は法律上「特定目的基金」といわれる性格のものなのに、目的も、何に使うのかについても議会にも市民にもあらかじめ示す仕組みになっていません。

市長が特別視する事業になら何にでも自由に使える「別のお財布」を作るようなことをするのではなく、財政運営の創意工夫による成果は「財政調整基金」に積み立て、

社会・経済の急激な変動に備えるべきであること、そして、行政改革の効果額を「この街に住みたい基金」を積み立てるにしても、決算が確定し、その額が確かになってから行うべきだと指摘しました。



ポイント／病院事業会計への繰入金の抑制には慎重であるべき (病院事業会計)

市立ひらかた病院は、感染症指定医療機関として新型コロナウイルスの感染症対策という重要な役割を担っているために、経営という観点では大きな損失を被っていると聞いています。何が起るか分からない病院経営におけるリスクマネジメントの観点からも、命と安全を守るという公的病院の役割という観点からも、病院事業会計として必要な資金残高を確保し続けるためにも、一般会計からの繰入金の抑制には慎重であるべきだと指摘しました。

救急医療や小児医療、感染症対策等の医療は不採算であり、税で支えることが必要です。特に令和元年度から令和2年度にかけては、新型コロナウイルス感染症対策のための病院事業会計に対する支出のあるべき状況が見極められるまで、繰入金を抑制して「この街に住みたい基金」に積み立てることはするべきでないことを指摘しました。

ポイント／用途を廃止した資産はすみやかに有効活用方を検討すべき

質問 元幼児療育園の建物及び土地が用途廃止となって一年となるが、予算の内容と課題について聞く。

答弁 跡地の管理に要する経費として防犯対策のための機械警備や除草経費など40万2千円を予算化している。

用途廃止となった資産を活用することなく、未利用施設を空き家のまま放置することは、コスト面からも、枚方宿地区の景観面や治安上の観点からも、極めて不適切な状態です。すみやかに撤去して土地を有効に使わないと大きな機会損失になります。地方債の活用(公共施設の除却)や建物の解体費用を基金から繰り出すシステムを構築している他市の事例も参考に、地元からの要望も踏まえた資産活用方を早急に確立することを要望しました。